

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Lend a Hand

「ロータリー：手を貸そう」

2003～2004年度・国際ロータリーテーマ/ジョナサンB.マジニア会長

「楽しいロータリー — 手に手、心から心へ輪を広げよう —」

2003～2004年度・東京新南ロータリークラブテーマ/西澤正雄会長

【本日の例会】2004年4月9日 第835回例会

◎卓話

「社会福祉の最近の動向」

社会福祉法人逗子市社会福祉協議会会長

宮 武 保 義 氏

(当クラブ会友・98～99年度会長)

【先週報告】4月2日 第834回例会

◎幹事報告 第5回クラブ協議会開催のご案内

(日 時) 4月16日(金) 例会後 13:00～14:30

(会 場) 東京全日空ホテル B1 オーロラ

(テーマ) 「クラブ名称について」そのⅡ

去る3月26日の第2回クラブフォーラムに引き続き、同じ「クラブ名称について」のテーマで開催致します。理事・役員・委員長はもとより全会員のご出席をお願い申し上げます。

◎雑誌委員会報告(柴本委員長)

4月はロータリーの雑誌月間です。元RI理事のボイド氏がロータリーの雑誌の重要性について書いています。

5月に大阪で国際大会が開催されますが外国からの参加者のために、日本のしきたりについて詳細に示されています。イオン株式会社名誉会長岡田卓也氏はロータリーから受けた影響について書きながら、カンボジアに学校を作った経緯を述べられています。

そして「友愛の広場」より老害雑感を一読とのこと。

◎親睦委員会報告(圓谷委員長)

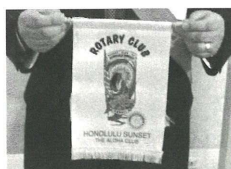
4月10日の旅行会の参加者は25名となりました。まだ若干の余裕がありますのでご参加ください。尚、歩き易い靴および服装でお出かけください。武内さんのお母さんも参加します。

◎SAA委員会報告(佐々木S.A.A)

今月から出席テーブルをかえました。ゴルフなど趣味を同じくする会員でまとめてみました。

◎バナー交換(藤野輝幸会員)

家族でニューヨークへ行った帰りにハワイにより、ホノルルのSunset RCに出席してきました。バナー交換して来ました。(写真参照)



◎慶事披露

100% 出席祝/荒木昭文君(13年)、吉岡琢磨君(12年)、小杉修造君(7年)、庄司泰典君(5年)、竹本孝三郎君・土屋東一君(以上1年)

◎出席報告

会員63名 出席40名・欠席23名(出席規定免除者8名)
ビジター 2名

4月行事予定

4月は ロータリー雑誌 月間です

2日(金) 4月定例理事会

東京全日空ホテル 1F かすみ例会後13:40～15:00

6日(火) 火曜会

Wolfgang・Puck Café (アーク森ビル1F TEL 5572-2100)

10日(土) 親睦日帰りバス旅行

多摩森林科学園・武蔵野陵の見学

集合 8:30 (赤坂エクセル東急ホテル前)～解散 17:30

16日(金) 第5回クラブ協議会

東京全日空ホテル B1 オーロラ例会後13:10～15:00

テーマ「クラブ名称について」

23日(金) 2004～2005年度理事・役員・委員長会議

東京全日空ホテル 1F かすみ例会後13:40～15:30

27日(火) 第6回千代田グループガバナー補佐と会長・幹事会

東京銀座RC事務局 15:00～17:00

30日(金) 休 会



4月2日 /16件 33,000円

2003～2004年 累計 1,084,649円

多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

土屋東一/100%出席のお祝いをはからずもお受けいたしました。有難うございます。小杉修造/皆出席有難うございます。荒木昭文/皆様のお陰で皆勤が続けられております。有難うございます。吉岡琢磨/お陰様で12年皆勤、自分ながら良くやったと思います。庄司泰典/5年皆出席できました。お祝いを頂き有難うございました。竹本孝三郎/世の中、新しい空気を感じるこの頃。皆さん軽快に行きましょう。椎名康允/はじめての受付、緊張しました。四分一勝/コレド日本橋店がオープンしました。圓谷正和/先週は家族で北海道にスキーに行ったため、例会を休んでしまいました。西澤民夫/新年度に入り桜もきれいですね。本年度もよろしく申し上げます。武内光晴/街中でフレッシュマンの姿を多く見かける時期となりました。遠い昔を思い出します。田村昭二/季節外れの風邪をひいていますが・・・渡部一元/庄司さん今日は。ご自宅、新築完成おめでとうございます。入沢頼二/庄司さんおつかれ様です。いろいろ助かります。尾上寛/庄司さん、ニコニコご苦労様です。尾関武男/庄司さん、ニコニコごろうさまです。

【次週予告】4月16日 第836回例会

第5回クラブ協議会

テーマ「クラブの名称について」そのⅡ

[例会後13:00～14:30]

「自分の見た外資系金融企業」

当クラブ会員

イスピード・ジャパン(株)代表取締役 藤野 輝 幸



わたしが、社会に出たのは1980年9月で働く会社は、ニューヨークにあるPeat Marwick Mitchellと言う公認会計士事務所でした。その頃は、日本の企業が米国に投資をと大挙してやってきた時代でもありました。すごいなと感じたのは、日本企業部に配属された時です。そこは約27名程でしたが顧客数が全米では500社を超えており顧客に満足のいくサービスを提供するのだと言う旗印の下に皆、自己犠牲の精神で残業はつけていなかったのを記憶しております。そこでの社員教育は徒弟制度であり落ちこぼれは絶対許さんとの心意気が伝わってきました。

6年後、今度は日本のバブル経済に目を付けた外資系金融機関の一つ、ソロモンブラザーズの日本本土上陸作戦の先兵としてヘッドハンティングされました。Peat Marwick Mitchellには恩も愛着もありましたが、提示された金額を見てなんの迷いもなく移ることを決めました。ソロモンブラザーズはボンドハウスと呼ばれ債券売買で有名になった会社でした。予算と言う概念もそのころはなくいつも一番になるんだとの決意でここまで来たのです。団結心も強く家族的なところがあり会長さんもファーストネームで呼んでいました。1986年7月に東京に赴任し6か月後外国債券部門に配属されました。自分が外国債券の方のトレーニングは受けておりませんがと申しましたら、“そのへんは自分でやってくれ。人も入れてトレーニングも頼む。何かあったら教えて。”との単純明快な業務命令でした。おかげで“マルチタスク、システム リテラシー、マネージメントスキルそしてHeart of Gold”を中心とした自分が思ってきた人員育成が可能になったのもソロモンの自由な精神があったからだと思います。

1998年にはフィデリティ投資信託に移りました。そこは投資信託を販売しお客さまのお金を運用して手数料を貰う。ソロモンは自己のポジションを持ち安く買い高く売ることによって儲ける。この違いが企業カルチャーに与えるインパクトが大きいことを私は経験しました。投資信託は信託の収益が問題になりますがいかにそのプレゼンテーション自体が大切なのかをも学びました。人は目に入ってくるものが重要で英語でも“First impression is the lasting impression”といわれ最初の印象は長く続くと言う意味です。社内用の管理レポートにもそれが反映されており実に充実した何十ページにも渡るものでこのプロフェッショナルリズムが会社の隅々まで行き渡ってありました。

3年後の2002年6月にフィデリティを退職しました。理由は家内と相談した結果、子どもたちはアメリカで育てたいのでニューヨークに戻ろうという事でした。しかし父親が急病になってしまったので渡米の時期をいつにしたものかと考えていたところでした。そんな時9月11日のテロがおきました。ヘッドハンターより連絡がありキャンターフィッツジェラルド証券会社東京支店長のポストがあき、人を探していると言う事でした。面接でわかったのですが、キャンターはあの世界貿易センターテロで全社員の7割がビル崩落で亡くなったこと、700家族以上が家長をなくしたこと、孤児が1500人出たこと、生き残った人々がこれから会社をどうしたら良いかを考えていること等等でした。キャンターの出した結論は店を閉めることではなく、路線をもって遺族の学費、保険、生活費などの負担そして会

テーマ 「クラブ名称について」

出席者 青野、馬場、コンシニ、早川、入沢、石井、石坂、岩上、ジョン、開発、小澁、小杉(真)、松永、村山、西澤(正)、尾上、小原、尾関、佐々木、柴本、椎名、清水、新保、庄司、鈴木、高須、竹本、武下、武内、田辺、土屋、吉岡 (32名・敬称略)

3. 意見交換 (まとめ小杉真史)

アンケートならびにフォーラムで、貴重なご意見を沢山頂きました。フォーラムでは時間の関係で出席者全員のご意見を得られませんでした。4月16日の「クラブ協議会」で、本日で発言頂けなかった方々のご意見も頂戴する積もりです。その上で、更に詰めた議論を展開し、全会員のコンセンサスを得て、今後の道筋をつけたいと考えております。

・このままの名称で良い、どちらともいえない

- ・現名称には17年の歴史があり、愛着がある。
- ・「新南」の名の元で育ってきた。
- ・南クラブが新南と名づけたのは特別の思い入れがある。
- ・南クラブとの親子関係を尊重すべき。
- ・新南という名称がどうしてついたかを認識すべき。
- ・名称に必ずしも地域名称を入れる必要があるのか。
- ・新南の伝統を重んじこのままで良い。
- ・新南のように抽象的な広域的名称の方が拒否反応がない。
- ・麻布R Cが出来た時、我がクラブも名称問題を論議すべきだった。

・名称変更したほうが良い

- ・名称にこだわらないが変えたほうが良い。
- ・会員増強の為に、はっきりして良い。
- ・東京赤坂、六本木R Cとしてはどうか。
- ・変えなければ、「赤坂」はどこかに取られる。(変えない場合、ずっと「新南」で行く覚悟が出来るか)
- ・「入れ物」の変更を契機に付随的に名称変更しても良い。
- ・南クラブは親クラブである事は明白だが、名前まで何時までも引きずる事に異議あり(メーキャップに行ってもシンナンと呼ばれる事が多い)
- ・名称変更は手段であって目的でない、何を達成しどんなクラブにするかが重要。
- ・地域名称にした方が、わかりやすい。
- ・何時までも「南」の直系を脱皮すべきである。
- ・英文の「TOKYO NEW SOUTH」は判りにくい。海外でも不評。

社のパートナーのインカムの四分の一を毎年遺族の為に基金に払うことなどでした。損得勘定が常であったウォールストリートの人々の決断です。まさに自己犠牲の上になりたつ奉仕の精神です。東京支店長のポストのオファーが来た時、自分がこの仕事を引受けることで渡米は遅れ、家族にも迷惑をかけると思い家内と相談した結果、賛成もしてくれましたし“キャンターでやってみよう！”と決心し現在に至っております。

振り返ってみますとPeat Marwickでは、沢山のプロジェクトを同時進行させ予算管理をしながら人を使って仕上げていくスキルを身に付けました。そして米国は訴訟社会ですからいつ裁判になっても自分はやることをやったといえる心構えを持って仕事をしなければならぬと言うことも学びました。ソロモンでは、ものには勢いがありそれに乗る！乗ったら乗ったで力の限りで押していく。フィデリティ投信では内容も外側も同じ重要性を持つ。そしてキャンターでは やはり人も会社も心意気が大事だという事でした。

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

〔会長〕西澤正雄 〔副会長〕小杉真史 〔幹事〕村山公士 〔会報委員長〕石井謙次 〔今週の担当〕小杉修造
事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111